

若越の林業



2016 **12** No. 704



福井しあわせ元気国体・大会の花⑪

平成 30 年に開催される福井しあわせ元気国体・大会において、競技会場やアクセス道路をはじめ県内を広く花で彩り、全国からの来県者を花でお迎えするために、学校や家庭、地域で育てやすい花 13 種が「福井しあわせ元気国体・大会の花」として選定されています。



福井しあわせ元気国体 2018
福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

センニチコウ

色鮮やかな球形の花が特徴です。花びらはもたず、色づいているのは苞葉と呼ばれる花の付け根に付く葉っぱです。長期間色あせしないので、ドライフラワーにも利用されます。

ふくい林業カレッジを開校

県では、林業の担い手確保のため、ふくい林業カレッジを今年度新たに開校しました。

カレッジでは、県産材の生産拡大を進めるため、新卒者など若い世代を対象に、林業に関する知識や技術を習得させ、事業者が求める即戦力となる人材の育成を図っています。

今年度の1期生は女性2名を含む9名であり、全員が来年度の林業事業者等への就業をめざし研修に励んでいます。

期間は3月末までの1年間であり、講義や実習、資格取得など年間約1、200時間の研修を実施しています。

入校当初はチェーンソーを触ったこともない研修生が、現在は大きな立木を一人で伐採できるまで技術が向上しており、10月からは、県内の林業事業者へのインターンシップを行い、現場で間伐材の伐採や搬出、測量など実践的な研修を実施しています。

今後、カレッジで林業への就業希望者に対する研修を進め、将来の福井の林業を担う人材の育成を図っていきます。

(県産材活用課 林業戦略・人材育成グループ)



▲総合グリーンセンターでの講義



▲現地での技術指導

「研磨炭」および「熊川葛」が 林業遺産に認定!!

今年5月末に、全国に誇る林業技術である「研磨炭の生灰技術」および「熊川葛の生産技術」が日本森林学会の林業遺産に認定されました。本県の林業遺産は、昨年の越前オウレンの栽培技術に引き続き、3件の認定となります。

林業遺産は、日本各地の林業発展の歴史を将来にわたって記憶・記録するため、林業発展の歴史を示す景観や体系的な技術等を日本森林学会が認定するものです。

二ホンアブラギリを原料とする研磨炭は特に曲面の研磨に優れ、ほかの研磨剤では代用できないものとして漆器等の研磨剤に用いられます。おい町に伝わるその生産技術は、伝統技術を継承する日本で唯一の事例であり、その希少性と伝統文化に貢献する技術として高く評価されました。

熊川葛は、江戸時代から現在まで変わらない製法により、昔ながらの技術と品質を現在に引き継いでいることが高く評価されました。

県では、林業遺産の認定を受けた林業技術を次世代に継承するための支援を継続するとともに、観光資源として新たな利用を進めていきます。

(森づくり課)

森林資源活用グループ



▲熊川葛の掘り起し作業



▲研磨炭の窯出し作業

大野市で本県初の木質バイオマス発電所が稼働

平成28年4月に大野市七板で本県初めてとなる木質バイオマス発電所が本格稼働しました。

この発電所は、間伐材（C材）や製材端材等12万㎡を燃料とし、発電規模は7,000kW、一般家庭約1万5,000世帯相当を発電しています。

発電所の整備によって、新たな雇用が創出されるほか、これまで山に残さざるを得なかった間伐材（C材）の利用が可能になりました。

一本の木を余すことなく利用できる環境が整うことで林業全体の底上げにつながり、地域創生のモデルケースとなることが期待されています。

（県産材活用課 県産材利用拡大グループ）



▲竣工式テープカット



▲施設全景

【発電施設概要】

事業者：(株)福井グリーンパワー
所在地：大野市七板
発電方式：蒸気タービン式
発電規模：7,000kW
燃料：12万㎡（間伐材や製材端材等）

県産スギ材を活用したオフィス家具を開発

県産材利用推進に関する協定締結

平成28年5月25日（水）、県庁ホールにて、県とオフィス家具メーカーの(株)イトーキと福井県家具建具協同組合がふくい県産材の利用推進に関する協定締結式を行い、共同開発した県産材オフィス家具を披露しました。

開発した製品は、天板に黒スギを使用し、中央のガラス板に越前和紙を挟んだ応接用テーブルをはじめ、椅子やパーテーションなどで、スギの持つ優しい風合いと木目の美しいデザインに仕上がっています。

この応接テーブルは知事応接室に置かれるほか、椅子やパーテーションなどは県庁ホールにて常設されます。

県庁にお越しの際は、是非、県産材オフィス家具に触れふくいのスギのぬくもりを感じてください。

本協定を契機として、県内外の民間企業などへの県産材オフィス家具の販路を開拓し、県産材の利用を一層推進していきます。

（県産材活用課 県産材利用拡大グループ）



▲協定3者で記念写真



▲応接テーブル

「ふくいSatoyamaトレイル」コースを県内3箇所で開催

平成28年3月末、里山の美しい自然景観や歴史、文化を巡り楽しむことのできる「ふくいSatoyamaトレイル」コースを県内3箇所で開催しました。

トレイルマップの配布のほか、道案内機能やコース周辺の見どころ情報など満載のスマートフォンアプリの無料配信を行っています。

各コースを活用した大会も各地で開催されており、県内外から多くのご参加をいただいています。

「コースを活用した主なイベント」

- ・福井平野周遊 戦国ロマンコース
朝倉トレイルラン 参加者450名
- ・わかさ三方五湖 周遊コース
(H27年初開催、今年度で2回目)
- ・わかさ三方五湖トレイル 参加者240名
(H28年初開催)
- ・越前海岸く府中 古道コース
(H29年開催予定)

また、今年度は新たに開催される大会等への支援を行っており、今後もトレイルによる誘客拡大を進め、地域の活性化につなげていきます。

（森づくり課 森林資源活用グループ）



▲わかさ三方五湖トレイル
風光明媚な三方五湖を巡りながら、地域ならではの「食」や「体験」を満喫しました。



▲朝倉トレイルラン
朝倉氏遺跡など戦国歴史ロマンを感じながら、美しい林内を駆け抜けました。



県森連だより

平成28年度 展示市開催！

平成28年度 展示市(主催：福井県森林組合連合会・嶺北木材林産協同組合・福井県木材組合連合会)が、10月21日に福井市合島町の福井県木材流通センターで開催されました。素材の部約720㎡、製品の部約500㎡の出品をいただき、県内外の製材所や工務店、仲買人の方々に多数お越しいただきました。

午前10時、素材の部の市売りが始まると、威勢のいい競り人の掛け声が響き、良質材を待ちわびた来場者によって丸太が次々と高値で競り落とされていきましました。中でも、直径64㎝、長さ4mの杉丸太が



▲良質材の競りには、来場者の注目が集まりました。

130,000円/㎡の最高値を付けるなど、上々の売れ行きでありました。続いて行われた式典では、審査結果の報告があり次の方々が表彰されました。

表彰

【素材の部】

- 福井県知事賞 福田 浩三
- 福井県山林協会会長賞 藤田 武志
- 全国森林組合連合会会長賞 南越森林組合
- 福井県森林組合連合会会長賞 高松林建

【製品の部】

- 福井県木材組合連合会会長賞 美山製材所
- 福井県嶺北木材林産協同組合理事長賞 天田製材所
- 福井県嶺北木材林産協同組合理事長賞 田中伊佐夫
- 福井県嶺北木材林産協同組合理事長賞 巨勢 利幸

(福井県森林組合連合会)

(公社)ふくい農林水産支援センター研修だより

(公社)ふくい農林水産支援センターでは、林業における基礎から高度な専門的技術・知識の研修を行っています。ぜひご参加ください。

研修のご案内

研修	日時	研修場所	講師
きのこの魅力	1月28日(土) 14:30～16:00	ユ一・アイふくい	京都御苑きのこの会 佐野 修治

【お問合せ・申込み】

公益社団法人 ふくい農林水産支援センター 研修支援課
TEL (0776) 97-9227 FAX (0776) 52-2142
〒918-8215 福井市寮町辺操 52-21
(福井県農業試験場 隣)



公益社団法人

ふくい農林水産支援センター
Fukui Agriculture, Forestry and Fisheries Support Center

若越の林業
平成28年12月10日発行

編集 福井県森林組合連合会 編集発行所 福井県山林協会
〒918-8567 福井市江崎20-1 〒910-0003 福井市松本3丁目16-10
☎(0776) 38-0345 福井県職員会館ビル ☎(0776) 23-3753

印刷所 創文堂印刷(株)
定価 1部50円(送料別)

会員に配布する本誌の騰送料は、会費に含まれています。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。